記　者　発　表　（~~発　表~~・資　料　配　布）				
月日（曜日）	事務所名	ＴＥＬ	広報担当者名	その他発表先
12/5 （月）	北播磨県民局 県 民 交 流 室 県民・商工観光課	直通番号 0795-42-9346	県民交流室長 平田　正教 （室長補佐兼県民・商工観光課 課長（県民担当）） 三木　盛年	―

「第９回ふるさと川柳コンテスト」入賞作品の決定について

６月１日から９月５日にかけて募集しました「ふるさと川柳コンテスト」の入賞作品が決定しました。

北播磨地域に在住または通学の小学生、中学生、高校生を対象に募集を行い、2,096 名から、ふるさと北播磨に思いをはせた 3,603 句の作品が寄せられました。

優秀作品（最優秀賞、優秀賞）の表彰式は、３月４日（土）１３：３０から兵庫県立嬉野台生涯教育センターで開催します。

また、これらの作品を活用して、「ふるさと北播磨」の普及啓発に役立てることにいたします。

記

１　入賞作品（別紙　入選作品一覧のとおり）

入賞者には、賞状と副賞が贈られます。

賞	受賞者数	副賞
最優秀賞	1 点	１万円分の図書カード　北播磨特産品
優秀賞	3 点	５千円分の図書カード　北播磨特産品
佳　作	20 点	千円分の図書カード

※北播磨特産品は、「播州織帆布」のバッグです。

２　表彰式

（１）日時　令和５年３月４日（土）１３：３０～

※　表彰は、兵庫県自治賞やこうのとり賞、列車内鉄道絵画展などを表彰する「北播磨ふるさと表彰式」の中で執り行います。

（２）場所　兵庫県立嬉野台生涯教育センター

（兵庫県加東市下久米１２２７番地１８）

３　審査委員

・大西泰世　（川柳作家）
・清水美知子（関西国際大学教授）
・上田尾真　（神戸新聞社北播総局長）

4　今回（第９回）の応募者・作品数

学校所在地	応募者数(構成比)		応募作品数(構成比)	
西脇市	38	(1.81%)	72	(2.00%)
三木市	621	(29.63%)	1,064	(29.53%)
小野市	413	(19.70%)	683	(18.96%)
加西市	668	(31.87%)	1,150	(31.92%)
加東市	266	(12.69%)	475	(13.18%)
多可町	89	(4.25%)	157	(4.36%)
神戸市(※)	1	(0.05%)	2	(0.05%)
合　計	2,096　名	(100.00%)	3,603　句	(100.00%)

(※)神戸市に通学しているが、居住地は三木市であるため、応募要件を満している。

	応募者数(構成比)			
小学生	1,077	(51.38%)	1,837	(50.99%)
中学生	723	(34.50%)	1,247	(34.61%)
高校生	296	(14.12%)	519	(14.40%)
合　計	2,096　名	(100.00%)	3,603　句	(100.00%)

〔前回（第８回）の応募者数〕

市　町	応募者数	応募作品数
合　計	2,078　名	3,581　句

令和４年　ふるさと川柳コンテスト　入選作品

賞	作品	氏名	学校名		学年
最優秀賞	めがね橋昔と今が手をつなぎ	勝本　和香菜	神戸市（三木市）	神戸市立神戸高等専門学校	2年
優秀賞	ふるさとは山も花火も大きいな	宮永　紗知	小野市	小野市立小野東小学校	3年
優秀賞	迷ったらここにおいでよきたはりま	河合　虹海	加西市	兵庫県立北条高等学校	2年
優秀賞	カラフルな気球が空をさんぽする	高橋　宗佑	加西市	加西市立北条東小学校	3年
佳作	友がいてハグしてくれる山や川	遠藤　日登	西脇市	兵庫県立西脇工業高等学校	1年
佳作	いにしえの故郷(ふるさと)想う鋸(のこ)の屋根	木田　昌宏	西脇市	西脇市立西脇中学校	2年
佳作	久しぶり小さくなったブランコと	牛島　葵	三木市	兵庫県立三木北高等学校	2年
佳作	燕の子飛べよ飛べ飛べ青空へ	花見　美咲	三木市	三木市立自由が丘中学校	3年
佳作	帰省してみんなで花火ああ夏だ	法島　大和	三木市	三木市立自由が丘中学校	1年
佳作	墓参りご先祖様と会話中	平井　涼奈	三木市	三木市立自由が丘中学校	1年
佳作	手を合わす帰ってきたよおじいちゃん	川畑　陽路	三木市	三木市立緑が丘小学校	6年
佳作	帰り道田んぼにうつるランドセル	樋口　真子	三木市	三木市立広野小学校	3年
佳作	思いきり地球をたたくすいか割り	都倉　理乃	小野市	小野市立小野南中学校	2年
佳作	夏祭り今日は私が主人公	三宅　正志	加西市	兵庫県立北条高等学校	2年
佳作	一年中野菜の宝庫じいちゃんち	羽渕　天晴	加西市	加西市立北条中学校	3年
佳作	カブトムシ夏を率いる将軍だ	大久保　聡哉	加西市	加西市立北条東小学校	6年
佳作	暑そうだ五百らかんにならぶ顔	本田　悠真	加西市	加西市立北条東小学校	4年
佳作	レールバス加西の町をかけぬける	井上　逢斗	加西市	加西市立北条東小学校	3年
佳作	かえりみちトンボとぼくでかけっこだ	吉位　日向	加西市	加西市立北条東小学校	2年
佳作	太鼓の音(ね)佐保の祭りがお通りだ	黒田　玲夏	加東市	加東市立社中学校	3年
佳作	きてほしい日本のへその北播磨	遠藤　桃香	加東市	加東市立社中学校	2年
佳作	やさしさとコスモス色にそまるまち	松本　陽依莉	加東市	加東市立滝野東小学校	4年
佳作	山も田も季節でみんな衣装替え	花瀬　心美	多可町	多可町立杉原谷小学校	6年
佳作	ゴロゴロとかみなりぼくに会いにくる	細田　優喜	多可町	多可町立松井小学校	4年

※並び順は、賞→学校所在地の行政順→学年（高学年から）→名前順で作成しています。

第９回ふるさと川柳コンテスト審査委員選評

最優秀賞	めがね橋昔と今が手をつなぎ	
	大西委員長	めがね橋をわたっていると、昔の人もこの橋を行き来して生活していたんだろうな、と思えたのですね。ずーっとつながっている時間のように、考えてみれば今のわたしたちも昔の人たちと手をつないでいたのでしょうね。とても上手な一句です。
	清水委員	志染川にかかる御坂サイフォン橋は、下流から眺めるとメガネのように見えますね。初代の橋が完成したのは明治の半ばで、100 年以上も現役の水路として活躍しています。「昔と今が手をつなぎ」という表現が巧みです。
	上田尾委員	橋は土地をつなぎ、そして人をつなぐもの。ふるさとにある「めがね橋」を見ていると、過去から現在に至るまでずっと変わらずつないでくれた“橋”への郷愁と共に、自分の過去と現在をも思い出させてくれるというまるで映画のワンシーンのような、とてもロマンチックな素晴らしい句です。
優秀賞	ふるさとは山も花火も大きいな	
	大西委員長	ふるさとの山が大きく見えるというのはよく言われそうなこと。でも、花火まで大きいな、とはなかなか思いつきませんよ。すばらしい「ふるさとじまん」の一句ですね。
	清水委員	コロナ禍で中止が続いた小野祭りも、3 年ぶりに開催されました。5 千発の花火があがるファイヤーファンタジアは圧巻。「山も花火も大きいな」というフレーズに、祭りに心躍る喜びとふるさとへの愛着が感じられます。
	上田尾委員	都会と違いふるさとには高い建物がないから、遮るものが無く山もそして夏に上がる花火も全体が見えて大きく見える。ふるさとの大きな自然を感じさせる句です。
優秀賞	迷ったらここにおいでよきたはりま	
	大西委員長	「迷ったらここにおいでよ」と言われたら、みんな行きたくなるでしょうね。自分が自分らしくいられる場所、それが「きたはりま」。やさしさにあふれたステキな句になりました。
	清水委員	北播磨には、のどかでゆったりとした時間の流れを感じる、懐かしい日本の原風景が今もたくさん残っています。癒やされること間違いなし。どこか旅してみたい人たちに、「おいでよ」と勧めたいですね。
	上田尾委員	ふるさとを離れ都会に出ると色んな逆境に出くわす。でもそんな逆境でくじけそうになっても、ふるさとは優しく受け入れてくれる自然、友がいる。ふるさとへの哀愁が感じられます。
優秀賞	カラフルな気球が空をさんぽする	
	大西委員長	わたしの町にはカラフルな気球がいつも空にありますよ、それもさんぽをしているみたいにね。こんなことを知らされると見に行きたくなります。この川柳を見て気球に会いに来る人が増えそうですよ。いい句です。
	清水委員	「気球の飛ぶまち」加西。平野が広がり、上空には比較的落ち着いた風が吹くなど、気球のフライトに適しています。色とりどりの熱気球が、優雅にゆらりゆらり浮かぶ情景が目に見えるような作品です。
	上田尾委員	気球で有名な加西市。そこに色とりどりの気球が大空に浮かんでいる。青い空とカラフルな気球のコントラストが目に浮かぶ句です。